学校名・氏名	岐阜県立益田清風高等学校・髙橋　沙彩

指導と評価の計画

領域　　球技（ゴール型）　バスケットボール　　年次：（　入学年次　）

単元の目標	知識及び技能	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。
	思考力、 判断力、 表現力等	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

	時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
学習の流れ	0	健康観察・準備運動・本時の目標の確認															
	10	○オリエンテーション ○ルールの確認	○パス ・チェストパス ・オーバーヘッドパス	○ドリブル ○ドリブルチェンジ	○レイアップシュート ※ICT	○八の字ドリブルからレイアップシュート ○２メンパスからセットシュート				○ポジションの確認 ○５人の位置取り ※ICT	○ミーティング ○チーム練習 ドリブル、パス、シュート、戦術をチームの課題に応じて組み合わせる			○ミーティング ※ICT	○ミーティング ○チーム練習 ドリブル、パス、シュート、戦術をチームの課題に応じて組み合わせる		
	20	○スキルチェック ○学びの確認	○三角パス ○２メンパス 発展的なパス練習	○八の字ドリブルからシュート ○１対１	○セットシュート ※ICT	○１対１（ハーフコートで）	○２対２（ハーフコートで）	○２対２（ハーフコートでスクリーンを使って）	○ドリブルする人への合わせの動きの確認　※ICT ○実践	○チーム練習	○リーグ戦Ｉ （６分ゲーム） ※ICT			○チーム練習 チームの課題に応じた練習	○リーグ戦Ⅱ （６分ゲーム）		
	30																
	40	○試しの試合	○練習試合			○練習試合（３x３ルールで） ５時間目の時にルール説明　※ICT				○練習試合				○練習試合			
	50	本時のまとめ・課題のフィードバック、次時への課題の提示など															

評価機会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	評価方法
知識							①							②		総括的な評価	観察
技能		(①)	(③)	(②)					(④)	①	②	③			④		観察・ＩＣＴ
思・判・表										①			②				観察
態度	(①)								(②)					②	①		観察

単元の評価規準	
知識	①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。
技能	①味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。 ④ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れることができる。
思・判・表	①自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ②作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け，仲間に伝えている。
態度	①健康・安全を確保している。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。